

議事要旨(4) 引当金専門委員会における検討状況について

冒頭、逆瀬副委員長（専門委員長）及び荻原主任研究員より引当金専門委員会において検討された測定に係る論点について資料に基づき説明がなされた。その後、次のような質疑応答が行われた。

・IASB は引当金を含めた負債の公正価値評価を考えているように思われるが、資産側ではIASB も事業用資産の公正価値評価までは求めていないことから、負債側の測定も資産側と同じように、金融負債とは分けて考える観点からの検討も必要ではないかとする意見があった。これに対して事務局より、引当金の場合は追加計上や戻入れという形の再測定が常時行われる点で事業用資産と異なる面もあるが、ASBJ からすでに 2005 年の公開草案に対してコメントしているように公正価値測定に係る懸念もあり、今後の検討の中で考慮していきたい旨の回答があった。

・IASB の提案のように単一の負債まで期待値方式で測定することとした場合には、キャッシュフローや確率の見積りが困難なケースが予想され、監査上の対応にも懸念があり、現行基準では大きな問題なく運用できているものを運用困難な方式に変える結果となるのではないかとする意見があった。

以 上